

2024 年度

## 名古屋市立大学

### 進化型実務家教員養成プログラム

#### 【基本コース】

#### 案内

プログラム設置研究科 <キャンパス>	担当窓口
高等教育院 (人間文化研究科)  <滝子(山の畑)キャンパス>	教務企画室 TEEP 事務局 Mail : <a href="mailto:teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp">teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp</a> Tel : 052-872-5882 ※基本としてメールにてお問い合わせください。 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1

#### <進化型実務家教員養成履修証明プログラムについて>

「進化型実務家教員養成プログラム (TEEP: Training for Emerging Educators and Practitioners : 以下 TEEP という)」は、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学が共同で行う履修証明プログラムです。

TEEP コンソーシアムでは単に実務を大学等で語る人材を育成するのではなく、高度化・複雑化した社会の動向や最先端の技術等を学生等に分かり易く解説し、探求心を育てる教育の場を設計できる高度専門人材を育成することを目的としています。

TEEP には「基本コース」と「専門コース」があります。「基本コース」では、進化型実務家教員になるために必要不可欠な能力の修得を目指します。「専門コース」は、各自の業種・専門性に合わせて視野を広げ、より専門性を高めることを目指します。

#### <基本コースについて>

基本コースは、実務経験を生かして人材育成するための、教育力・課題解決力を修得するカリキュラムを提供するものです。主な目的は、大学等の教員に求められる研究・教育倫理や研究指導・教育に関する基礎的能力の養成と、産学官民協同で社会課題克服のプロジェクトを創出し、多職種連携 PBL 演習として教育の場を設計し、実践できるようになることです。

## 1. 募集期間

名古屋市立大学科目等履修生出願要項の出願書類提出期間と同じ

## 2. 募集定員・出願資格

募集定員 15名

出願資格 大学卒業程度の学力があり、かつ、①～④のいずれかの条件を満たす者

- ① 企業、行政、医療機関その他での実務経験が合計で5年以上ある者
- ② 起業経験がある者
- ③ スポーツ競技等で一定以上の実績を有する者
- ④ その他、TEEP 運営委員会が適切と認める者

## 3. 出願方法・選考

出願 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 前期開講科目

「都市課題プロジェクト研究（伊藤恭彦教授担当）」科目等履修生へ出願する  
(入学検定料 9,800円)

選考 一次審査：書類選考

二次審査：オンラインによる面接

※出願方法については、科目等履修生出願要項参照。

※「都市課題プロジェクト研究」は、科目等履修性出願要項の16ページ参照

## 4. 受講内容

このプログラムは、大別すると「大学教員基礎力養成」、「ソーシャル・デザイン能力養成」、「多職種連携・PBL 能力養成」から成り立っています。

それぞれの項目に、事前学習用のオンデマンド教材を用意しており、配信する動画を視聴し、内容を理解したうえで、授業を受講する構成となっています。

ソーシャル・デザインに必要となる基礎知識を修得するためのスクーリングや、多職種連携 PBL 演習の実践も行います。

また、キャリア開発支援として、進化型実務家教員のコンピテンシーを修得するために実務領域診断カルテを活用し、経験の振り返りや目標設定を行います。

項目	内容	スケジュール
科目履修	都市課題プロジェクト研究  ・研究指導論 ・大学教育実践演習 ・ソーシャルデザイン・プレゼンテーション	4月～9月

事前学習 (動画視聴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学教育と進化型実務家教員</li> <li>・ 教育・研究倫理</li> <li>・ 研究と論文</li> <li>・ 持続可能な社会構築論</li> <li>・ ファシリテーション</li> </ul>	4月 4月 4月 5月 6月
事前学習 (スクーリング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会構築論</li> <li>・ 多職種連携 PBL 演習</li> </ul>	6月 7月～8月
実務領域診断カルテ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得すべき能力の認識</li> <li>・ 経験の振り返り</li> <li>・ 強み/弱み/専門性の認識</li> <li>・ コンピテンシーの修得</li> </ul>	4月 6月 8月 9月

● 大学教員基礎力養成

大学とは何か、大学の現状と課題、大学での教育方法・学習評価方法、教育・研究倫理等の教員に求められる教育・研究指導に関する基礎的知識を修得するとともに、進化型実務家教員のあり方についても学びます。

● ソーシャル・デザイン能力養成

持続可能な社会を構築するための、ESD や SDGs に関する基礎知識を修得します。また、Society5.0 実現に向けたデータ科学 (DS) の活用にかかわる統計手法やプログラミングも学びます。そのうえで、自身の専門領域を生かしたソーシャル・デザイン能力を身に付けます。

● 多職種連携・PBL 能力養成

多様な他者と連携し合意形成するためのファシリテーション技術を修得し、課題解決型の授業で探求心を育成する教育の場を設計できる能力を身に付けます。

● 実務領域診断カルテ

進化型実務家教員には「研究者として」「教育者として」「社会貢献者として」「学内運営者として」の4つの活動領域があります。これに必要な能力を高め、経験のアウトプット化の状態を点検し、実務家教員に向けたキャリア開発に必要な学びを認識するとともに、言語化能力を身につけます。

5. 受講に関する留意事項

- 各科目の評価は科目担当教員が行います。
- 選択科目のシラバス（講義概要）および授業時間割は、名古屋市立大学公式 HP のシラバス公開システム（外部公開用）にて一部確認ができます。（掲載されていないものについては、TEEP 事務局へお尋ねください）

- 講義（オンライン型、対面型問わず）では資料の配布、課題提出などを web 上で実施する場合があります。パソコンと通信環境をあらかじめご準備ください。
- 新型コロナウイルス流行状況によっては、授業実施方法を変更することがあります。

## 6. 修了要件

次の①～③をすべて満たすこと。

- ① 指定された事前学習・スクーリング・授業をすべて履修すること。
- ② 「都市課題プロジェクト研究」の単位を取得すること。  
単位認定の成績評価基準は以下の通り。
  - ・ 研究指導論関連では、研究指導の実践による総合評価（レポート等も含む）
  - ・ 大学教育実践関連では、教育実践による総合評価（シラバス作成や模擬授業等も含む）
  - ・ 持続可能な社会構築論関連では、プレゼンテーションによる評価
  - ・ PBL 関連ではレポートによる評価
- ③ 実務領域診断カルテを用いた学習成果の評価で、教育専門能力が身に付いたと判定されること。

## 7. 受講料

142,600円（名古屋市住民等以外の場合は152,600円）

※入学金、学生教育研究災害傷害保険料、科目等履修生としての授業料および  
TEEP 指定プログラムの受講料を含みます。

※別途、PBL 演習の旅費・実習費等がかかる場合があります。

## 8. その他

本プログラムの修了が認められたものには、進化型実務家教員養成プログラム基本  
コースの履修証明書を発行します。

以上